

開催日：2019 年 11 月 25 日

会場：イオンコパス 東京八重洲会議室

参加者（敬称略順不同）：鈴木（副会長、委員会管掌）、渡辺 DDP スペシャルティプロダクト（委員長、理事）、田内 住化エンバィロメンタルサイエンス（委員）、水野（伊藤代理） タイショーテクノス（委員）、古川 大和化学（副委員長）、宮坂 大阪ガスケミ（委員）、田原 北興化学（委員）、酒井 LIXIL（委員）、若尾 アイカ工業（委員）、泉 三愛石油（委員）、楮山 ケミクリア（オブ）、平沼（事務局）

欠席：谷口 シンセオミック（委員 理事）、前田 エムアイシー（委員）、竹田 LIXIL（委員）、木村 住友化学（委員）、小川 DDP スペシャルティプロダクト（委員）、村田 ロンザ（委員）、永田（事務局）、

次世代の SIAA 防カビ剤・加工製品 登録プログラムを考えるために 10 年の活動を振り返った

- ▶ 2010：防カビ PL 登録の最終準備
- ▶ 2011：SIAA 新マークの策定
- ▶ 2012：防カビ剤登録開始
- ▶ 2013：防カビ加工製品登録開始
- ▶ 2014：リーフレット作成、リスク評価の概念を発信開始
- ▶ 2016：防カビ動画の WP から配信、SDG の参画を発信開始
- ▶ 2017：メーカーと消費者向け「めくれるページ」の資料配信 HP
- ▶ 2018：防カビ委員会の新しい在り方（防カビ剤事故どうする？など）
- ▶ 2019：これからの SIAA と防カビ登録を考え始める

議事

- ▶ 1. SIAA 登録のメリットを定義付ける（登録社の将来価値、企業として利益）
- ▶ 2. SIAA 防カビの（事務局用）緊急対応マニュアル案の継続検討（防カビ事故があった場合の情報・連絡・対応編）
- ▶ 3. SIAA 防カビ PL 収載判定委員に関する文書化案（任期・ノミネーション・承認など必要か？）
- ▶ 4. SIAA 防カビ製品の質チェック（チェック方法、既登録品の質の確認を求めるとどうするか）
- ▶ 5. 委員会へのネット会議での参加方法（会社からネット会議で）

1. SIAA 登録のメリットを定義付ける（登録社の将来価値、企業として利益）とは
各委員のコメント

防カビ加工製品の登録に関する：

- A-1. 抗菌も含め台湾では SIAA の知名度が高い印象がある（営業しやすい）
- A-2. SIAA の認知度の高いユーザーでは、マークの信頼度が高い
- A-3. SIAA マーク付与で、ユーザーに安心感（製品の質）がある

- G-1. 「防カビ」は、売りになるポイントという考えは揺るがない
- G-2. カビは目に見えるものなので、製品に「カビが生える」という心配もあり、ビジネスリスクもある

- I-1. 安全性の信頼感が、SIAA マークにはある
- I-2. 防カビマークで、ユーザーは製品を選別、差別化できる

- J-1. 介護製品市場で、防カビ SIAA マークの製品が好評価を得ている
- J-2. 浴室の介護用風呂椅子が、好調な営業と聞いている
- J-3. 介護分野での認知度は非常に高いとの印象がある

- K-1. 抗技協 HP に、新規編集された登録防カビ加工製品のリストがあり、参考にあるのでは
- K-2. 防カビ加工ビジネスリスクをどう低減できるか、カビ抵抗性試験の実施は重要

防カビ剤ポジティブリスト登録に関する：

- B-1. 顧客ニーズがあり、弊社は登録を実施しました

- C-1. 営業話題として、SIIA 登録済の剤の紹介は、非常に効果的と考えている
- C-2. ずばり、SIAA 登録剤の指名買いもある

- D-1. 会社方針として、SIAA マークの品ぞろえを進めている
- D-2. Z2911 試験はカビ抵抗性の評価であるが、SIAA の登録基準によって、カビ抵抗性の基準ができたことは、非常に意義高い

- E-1. 顧客から、SIAA 登録の要望が実際にある

- F-1. SIAA 登録には準備（コスト、期間）がかかるが、顧客ニーズがあり登録要のビジネス判断をした
- F-2. 登録がすでであれば、採用のタイミングを逃さないなので、これは大変意義高い

- H-1. 抗技協の HP アクセス数の増大のデータをみると認知度上昇の印象がある
- H-2. 「防カビ」機能の重要性、ニーズが高まっている感じがする
- H-3. ただ、客観的に見て SIAA の認知度が高いのかどうかの疑問もある

2. SIAA 防カビの（事務局用）緊急対応マニュアル案の継続検討（防カビ事故があった場合の情報・連絡・対応編）

消費者から相談・クレーム（防カビ製品での皮膚障害事故として）があったケースを想定
スキーム：別掲

3. SIAA 防カビ PL 収載判定委員に関する文書化案（任期・ノミネーション・承認など必要か？）

判定委員（微生物関係、毒性・安全性関係、消費者団体関係のご専門家の先生）

1. 先生方との契約（委託概要）案の骨子
 - （ア）委託期間 2 年案（更新制）と明示する
 - （イ）謝金・交通費用の明示
 - （ウ）審査委員会での委託内容（仕事 Job description）を明示・リスト化
2. 先生方のノミネーションプロセス
 - （ア）推薦方式（SIAA 事務局、会員、委員会など）とする
 - （イ）打診・意向確認作業（事務局が今まで通り行う）
 - （ウ）先生への委託の承認（理事会などで承認を得る）

4. SIAA 防カビ製品の質チェック（チェック方法、既登録品の質の確認を求めるべきかどうか）

評価技術委員会でも検討している

防カビ委員会としても、今後の検討課題として、継続議論（方法、頻度など）

5. 委員会へのネット会議での参加方法（会社からネット会議で）

別添付あり

- 鈴木さんから、理事会レベルで紹介する
- SIAA 会合に出張までして出席ができない場合に利用できる手段として紹介する
- トライアル使用を検討する

委員会の後、懇親会を実施し、散会となった。

以上